＊2023 年 10 月 改訂（第 2 版）
2020 年 6 月 作成（第 1 版）

届出番号 13B1X10144000016

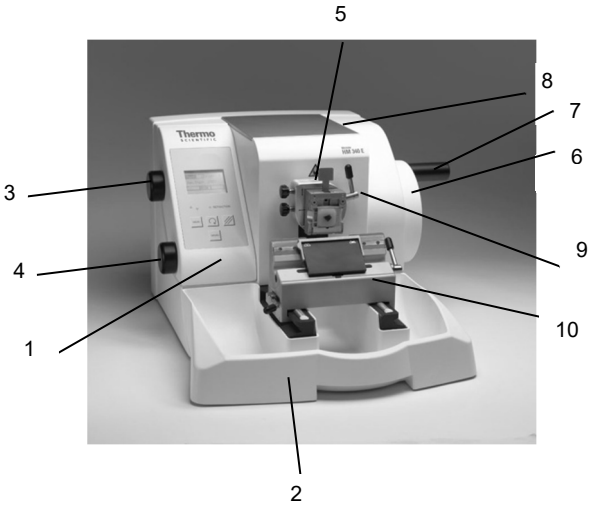
機械器具 27 医療用ミクロトーム
一般医療機器 回転式ミクロトーム （JMDN コード 15158000）

ロータリーミクロトーム HM340E

［警告］
- 組織由来の試料（特に未固定の試料）は感染の恐れがあるため、取扱いの際はディスポーザブル手袋や保護衣を着用し、使用後は装置の汚染除去と清掃を行うこと
- ミクロトーム用ナイフ/ブレードの刃先は非常に鋭利なため、取扱い時にはメッシュ手袋を着用すること
- 試料の取り付け、取り外し、切片屑の掃除など試料ヘッドの周囲で作業を行うときは、必ずハンドホイールをロックし、ナイフガードを使用すること

【形状・構造及び原理等】

1. 概要及び外観



1. 操作（コントロール）パネル
2. 切片屑トレイ
3. 切片厚調整ノブ
4. 粗動送りノブ
5. スペシメンオリエンテーション
6. ハンドホイール
7. ハンドル
8. ハウジング
9. カムレバー
10. ナイフキャリア

2. 寸法及び重量

410（W） × 520（D） × 280（H） mm
28 kg

3. 電気的定格

AC100V、50/60Hz、 1.0A

4. 原理等

シリンダに固定した試料をハンドホイールの回転操作により、上下移動、およびキャリアに固定されたブレード（またはナイフ）に向かって漸進移動させて薄切する。

【使用目的又は効果】

組織試料の切片を薄片に削るために用いるミクロトームである。通常、試料は削り取る前にパラフィンワックスで安定（固定）させる。切片ははずみ車の回転ごとに削り取られる。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照。

1. 設置
   1) 開梱の前に輸送による損傷の有無を確認する。梱包材に損傷が認められた場合は、装置や付属品に損傷がないかどうか慎重に確認する。
   2) 装置設置場所の近くで開梱し、梱包内容を確認する。
   3) 装置を水平な台の上におく。切片廃棄トレイをベースプレート前面に取り付ける。
   4) 操作パネルと装置を A37 リードコントロールケーブルで接続する。
   5) 装置背面の電源ソケットに付属の電源コードを接続し、そのあと、電源プラグを電源コンセントに差し込む。
   6) 電源スイッチを入れる。
   7) 試料ホルダが自動的に後退し、エンドポジションに移動することを確認する。

2. 操作方法

詳細は取扱説明書を参照。

   1) 装置の電源をいれる。ハンドホイールは一番上でロックしておく。
   2) 試料クランプ等を使用して、試料を取り付ける。
   3) ナイフキャリアをあり継ぎガイドに装着し、ナイフ又はブレードを挿入し、位置と角度を調整しクランプで固定する。
   4) コントロールノブで切片厚とトリミング厚を設定する。設定値は操作パネルの画面に表示される（FEED：切片厚、TRIM：トリミング厚）。
   5) レバーを回してハンドホイールのロックを緩める。
   6) 粗動送りボタンを押して、試料と刃先の位置調整を行う。
   7) 粗動送りホイールで試料を水平移動させてナイフの刃の位置にあわせる。
   8) トリミングステージを使用して、トリミングとファーストカットを行う。
   9) ハンドホイールを回して薄切を行う。

取扱説明書を必ずご参照下さい

【使用上の注意】

1. バイオハザード
   1) 切片くず、消毒や掃除に使った液はバイオハザード廃棄物として規定に従って処分すること。

2. ナイフおよびブレード
   1) ナイフをナイフキャリアにセットする前に試料を固定すること。
   2) ナイフホルダを交換する前に、必ずナイフやブレードを外すこと。
   3) 使用していないナイフはナイフケースに保管すること。
   4) ナイフの刃を上向きに置いたり、刃先に触れたりしないこと。

3. その他の注意事項
   1) 必ず保護接地された電源に接続すること。
   2) 装置の周囲で携帯電話を使用しないこと。
   3) 装置に不具合が生じたときや修理が必要なときは電源を切り、販売店または製造販売元に連絡すること。
   4) 薄切は通常室温で行う。高温になるとパラフィンが軟化して薄切が困難になるため、直射日光やその他の熱源への曝露を避けること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 設置及び使用環境

   温度　　5～35℃
   湿度　　60％以下
   室内専用、直射日光、空調の影響を避けること
   振動がなく水平な場所に設置すること

2. 耐用期間　7 年　（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

作業を始める前にハンドホイールをロックすること。

1. 試料くずの掃除
   1) 試料くず、パラフィンくずは乾燥したブラシでできるだけ頻繁に除去する。
   2) 特にナイフの表面および裏面、ガイド、クランプ部分のくずは確実に取り除く。
   3) 切片廃棄トレイを取り外し、不要な切片やくずを各施設の規則にしたがって処分する。
2. クリーニング
   1) ナイフキャリアからナイフを取り外す。取り外したナイフは乾いた布できれいにし、ナイフケースに保管する。
   2) クリーニングには家庭用の中性洗剤をうすめて湿らせた布を使用し、特に試料が接触することのあるナイフキャリアとその周辺、試料クランプ、あり継ぎガイドの溝、ハウジング、操作パネルは丁寧にクリーニングする。（ただし、液体をかけたりこぼしたりしないこと。また、装置のカバーを外して内部の掃除はしないこと。）

業者による保守点検事項

1 年に 1 度、業者による保守点検を実施すること。
点検項目は下記の通り。

1. 動作点検
2. 内部パーツの点検と交換

【製造販売業者及び製造業者の氏名または名称等】

製造販売元：PHC 株式会社
TEL 0120-878-279

＊製造元：　Epredia Laboratory Products Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd.
輸入先国：　中華人民共和国